

令和5年5月16日

## 令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
東京 IT プログラミング&会計専門学校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 令和5年度学校関係者評価委員会

#### <評価委員> (五十音順)

江畑 龍 氏	リコージャパン株式会社 エンタープライズ事業本部 首都圏 MA 事業部 デジタルサービス第五営業部 LA4 グループ リーダー
衣川裕美子氏	日本 SE 株式会社 ソリューション営業推進部 課長補佐
富澤 武幸氏	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 専務理事 事務局長
林 成治氏	あかり監査法人 公認会計士
林 哲治氏	立志舎高等学校 教頭
平井 隆 氏	税理士法人 Alchemist 代表社員

#### <事務局>

松嶋 和典	東京 IT プログラミング&会計専門学校 校長
畠山 信夫	東京 IT プログラミング&会計専門学校 教務部課長
石出 克佳	東京 IT プログラミング&会計専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p><b>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</b></p> <p>学校の目標を「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、ビジネスおよび情報処理に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページに基本情報として情報公開しており学外に広く公表している。</p> <p><b>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</b></p> <p>教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより各学科の目標とする検定試験等に高い合格実績をあげることができている。入学希望者にもオープンキャンパス等で分かりやすく説明している。</p> <p>なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。</p> <p><b>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想が学生、保護者等に周知されているか</b></p> <p>ホームページへの掲載やオープンキャンパスでの説明など、学生・保護者等に周知されている。</p> <p><b>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか</b></p> <p>育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「教育目標に専門的知識の習得のほか、人格の育成を掲げている。人格育成は非常に難しいなか、それにチャレンジしていく姿勢は素晴らしいと思う。」</p> <p>(2) 「高校でもゼミ学習を取り入れているが、上手く活用できないときがあるので、我々高校の教員も専門学校のシステムを学びながら日々精進していきたいと考えている。」</p>

<p>基準2 学校運営</p>	<p><b>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</b></p> <p>各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標としており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示して、繰り返し教職員に伝えている。</p> <p><b>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され機能しているか</b></p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p><b>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか</b></p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。</p> <p><b>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</b></p> <p>日常的な意思決定は管理職が行っており、学校間の調整は運営本部や部次長会議で行っている。また、理事会、評議員会、校長会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p><b>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</b></p> <p>資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、本人了承のもと氏名のイニシャル表記や出身校名を載せているので、志望者や保護者の方の判断にも役立っている。</p> <p><b>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</b></p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークで全拠点を結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「多様化した時代の中で時代に沿った学習内容の学科やコースを設置しており、学生から信頼され支持される学校づくりに繋がっていると思う。ただ、多様化する中でコースなども多様化しており大変だなあと感じている。」</p> <p>(2) 「HPがリニューアルされており、各コンテンツへの導線が整備されていて見たい情報に辿り着きやすいサイトになっている。入学してから卒業するまでのロードマップみたいなものがあって、入学してくる高校生から見て2年間の流れがイメージしやすくなっている。また、就職活動についても色々な方のサポートによって行われていることが分かり、保護者を含め入学してくる学生の不安を払拭するような内容である。」</p>
-----------------	--

<p>基準3 教育活動</p>	<p><b>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</b></p> <p>カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も育成している。</p> <p><b>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</b></p> <p>官公庁や企業からのアンケートを基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するよう指導している。また、公認会計士や税理士などの超難関資格を目指す学生には研究学科への進学を可能とし、さらなるレベルアップができるようにしている。</p> <p><b>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</b></p> <p>カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。</p> <p><b>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</b></p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置し、企業の人事担当者による学内就職セミナーも実施している。また、現在すべての2年制学科で職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を行っている。</p> <p><b>ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</b></p> <p>学生による授業評価アンケートを実施している。また教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。</p> <p><b>ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</b></p> <p>学則、専門課程便覧にその基準を明確に定め、学生にも周知徹底し、厳正に行っている。令和元年度より GPA を算出し学生の成績をより明確に把握している。</p> <p><b>ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</b></p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、カリキュラム編成をし、試験終了後見直しをしている。各学科でシラバスを作成し、適正な配置を行っている。</p> <p><b>チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</b></p> <p>専門性、人間性、教授力等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p>
-----------------	---

リ． 教員の能力開発のための研修などが行われているか

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

- (1) 「新しい分野をキャッチアップして学習していくことは自分の力では難しいところがあり、外部に頼って情報収集していくことは大事なことであるので教職員の研修は必要である。また、試験の傾向を知るためにはある程度の先読みが必要であり、研修を通じて試験問題を研究されることは非常に良いことだと思う。」
- (2) 「専門的なスキルを持った人は即戦力として重宝されており、現代の社会で求められている人材だと思う。また、コロナ禍においてコミュニケーションが不足しており、しっかりとしたコミュニケーションが取れないことがビジネスロスに繋がっている。コミュニケーション能力やプレゼン能力を身につけて即戦力で働ける人材が必要だと思う。」

<p>基準4 学修成果</p>	<p><b>イ. 就職率の向上が図られているか</b></p> <p><b>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</b>          コロナ禍にもかかわらず、就職率及び資格取得率についてはともに向上が図られている。</p> <p><b>ハ. 退学率の低減が図られているか</b>          担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。さらに令和3年度から「日常コミュニケーションチェック表」を全クラスで導入し、学生の変化を日々確認できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「昔と比べて数多くの資格・試験に挑戦して、かつ数多くの合格者を輩出しており、とても素晴らしい実績だと思う。今年度は税理士試験5科目完成者の輩出を期待している。」</p> <p>(2) 「多くの合格実績が毎年継続して出せているのはすごいことだと思う。データ分析手法について学んでいるコースがあるが、ビッグデータの時代、膨大なデータから何を抜き出しどのようなカテゴリーで整理していくのかを考え、そのデータの使い方がわかる人材は今後企業にとって魅力ある人材になると思うので、この分野について伸ばしていくべきだと思う。」</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p><b>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b>          就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、就職相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p><b>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</b>          学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p><b>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</b>          本学では独自の特別奨学生試験、各種特待生制度や延納制度を設けている。また、高等教育の修学支援新制度の対象校として東京都より確認されている。</p> <p><b>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</b>          学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、学校医が学生の健康相談などに応じている。          また、校舎入り口や廊下・トイレに消毒剤などを設置し、手指を消毒することで感染症の予防を行い、さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、検温・体調チェックシートにより状況把握・机やイスの消毒・教室内の座席等のソーシャルディスタンスを保つようにしている。</p>

**ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか**

クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。

ただし、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学園祭は規模を縮小して実施し、クラブ活動、球技大会と体育祭は感染防止対策を徹底し実施した。

**へ. 学生の生活環境への支援は行われているか**

学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。

**ト. 保護者と適切に連携しているか**

出席状況、成績表を年2回、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談も実施している。

**チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか**

無料で高校生の民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生が参加している。

この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

- (1) 「奨学金制度は昔からしっかり整備されているし、研究学科進学者に対しては資格合格の要件を満たした者に対する減免制度もあり、経済的な支援は非常に整っているのではないかと感じた。」
- (2) 「就職についての相談ができる環境を設置していることは非常に良いことだと思う。また、昨今精神的に病んでしまう学生が多くいると感じており、そのような学生に対するカウンセリングなどを充実させることが重要だと感じた。」

<p>基準6 教育環境</p>	<p><b>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b>  設置基準に基づき教育上支障がないように整備されている。ただし、できる限り最新の器材にしていきたいと考えている。また、校内の Wi-Fi 環境を全教室に整備して、常時オンライン授業や企業の説明会、面接に対応できる体制を整えている。</p> <p><b>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</b>  防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるかわからない状況を考え、今後も改善も努める。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。  「いつでも授業がオンラインで出来る環境を整えていることは素晴らしいことだと思う。」</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p><b>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</b></p> <p><b>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</b>  公認会計士試験、税理士試験、情報技術者試験などの高度な試験合格においては、合格者情報に氏名のイニシャル表記・出身校名を載せており、入学者に対するアンケートにおいても、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。  また、情報発信としてホームページだけでなく SNS も利用して行っている。</p> <p><b>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</b>  学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。  この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。  「情報発信として SNS を利用してるが、雰囲気伝わって来て非常に良い取り組みだと思う。ただ、たくさんの企業や学校が SNS を利用して情報を発信している中、差別化を図ることが必要であり、そのためには学校の良いところをフォーカスして発信していけば良いと感じた。」</p>

<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか  ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか  ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか  ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、監査報告書を公開している。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見と質問があった。</p> <p>(1) 「財務情報が適時適切に公開されているということは、良いことだと思う。」  (2) 「少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていくための具体的な施策を教えてください。」</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>「まずは、入学してきた学生の気持ちを汲みながら授業を進めていき、退学者や休学者が出ないようにしていくことを考えている。</p> <p>また、少子化のなか、多くの高校生が本学を選んでくれるように、多くの魅力的な面を情報発信していきたいと考えている。」</p>
---------------	--

<p>基準9 法令等の 遵守</p>	<p><b>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</b></p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、法令遵守規程を作成し施行している。</p> <p>学生に対しては「SNS 利用についてのガイドライン」を配布し利用上の注意を周知した。</p> <p>また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p><b>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</b></p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、覚書等で保護の徹底を行っている。また、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を掲載する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p><b>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</b></p> <p><b>ニ. 自己評価結果を公開しているか</b></p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「自己点検・自己評価は非常に良い取り組みだと思う。これにより関わる人の意識を高めることは非常に大事であり、継続して実施して欲しい。」</p>
------------------------	--

<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか  ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか  ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の路上清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域の状況に応じてお祭りやフェスへの参加など社会貢献・地域貢献ができています。ただし、令和4年度における地元おまつりについては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加しなかった。</p> <p>また、地域の方々に対する学校独自の公開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準10についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見と質問があった。</p> <p>(1) 「地元開催のフェスがコロナで2年中止になっていたが令和4年度は開催され応援団に参加してもらい我々も勇気をもらった。」  (2) 「地域に対する公開講座を実施する予定はあるか。」</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>「以前は簿記講座や珠算塾なども実施していたが、人材不足もあり最近では実施していない。ただ、地域の方々と共に共存共栄していきたいという気持ちはあるので、できれば復活させたいが現状ではそのような予定はない。」</p>
------------------------	--

〔総括的な意見〕

すべての評価項目の評価について妥当となっている。

社会が多様化しているなか、専門的なスキルを学ぶことで、社会に出てから戦力として活躍するチャンスを得ることができると思う。今後も物事に柔軟に対応できる人材の育成に力を入れて欲しい。また、学校で勉強した専門的な知識を基盤として、目の前の課題をいかに解決していくか、その解決策を生み出せる学生を企業は欲しいと思うので、そのような学生を育成してほしい。

ゼミ学習を通じて資格取得の実績や就職状況が良好であることはよくわかった。その反面、コロナ禍において明るく楽しいキャンパスライフに苦慮している状況が理解できた。今後は三本柱を再構築していき存続していけば良いのではないかと考える。

学生の合格実績、就職実績については十分な結果を出しており、学生の頑張りとそれに支えるための先生方の努力の賜物だと感じる。今後は悩みや不安を抱えた学生が増えてくるため先生の役割がますます増えてくると考えられる。引き続き頑張ってもらいたい。